

<用語解説>

ア行	
アシスタントマネジャー	総合型地域スポーツクラブなどにおいて、クラブ会員が充実したクラブライフを送ることができるよう、クラブマネジャーを補佐し、クラブ運営のための諸活動をサポートする者。
一校一運動	体力向上プランの取組の一つ。児童生徒の体力向上に向けて、学校ごとテーマ(マラソン、縄跳び等)を設け、学校一丸となって年間を通して取り組む運動。
オリンピックムーブメント	スポーツを通じて、友情、連帯、フェアプレーの精神を培い相互に理解し合うことにより世界の人々が手をつなぎ、世界平和を目指すことを目的とし、国際オリンピック委員会(IOC)をはじめとする組織や人々が行うさまざまな活動。
カ行	
キッズ運動遊びどこでもゼミナール	長野県版運動プログラムの「小学校低学年向けの運動プログラム」を普及するために県内各地で実施する実技講習会。対象は、子ども(幼児、小学校低学年)、保育士、幼稚園及び小学校の教員、地域の指導者、保護者等。
県立武道館	本県の武道振興の中核的拠点とするため、佐久市に県が建設を進めている武道施設。延床面積約11,600㎡。主道場は柔道・剣道6面、観客席約1,500席を有する。平成31年度供用開始予定。
サ行	
障害者のスポーツ施設利用促進マニュアル	東京都オリンピック・パラリンピック準備局と公益社団法人東京都障害者スポーツ協会が作成した、スポーツ施設における障がい者の受け入れ体制の向上のための工夫や配慮をまとめたマニュアル。県障がい者スポーツ協会が増刷し、県内施設等に配布。
障がい者スポーツ地域コーディネーター	地域において障がい者がスポーツを行う機会を拡大するため、障がい者の実態把握や一般スポーツ界への受け入れの働きかけ、スポーツに関する情報提供や相談、指導者の紹介等を行う者。
承認活動	授業中、特にまとめの場面で、本時の学習を振り返り、教師が直接児童生徒の取組を認めたり、友と互いにその伸びを認め合ったりする場面を意図的に仕組み、達成感や意欲を高める活動。
信州ACEプロジェクト	しあわせな暮らしの基礎となる県民一人ひとりの健康を更に増進するため、本県の課題である脳卒中などを予防するための生活習慣の改善に取り組む県民運動。「ACE」はAction(体を動かす)、Check(健診を受ける)、Eat(健康に食べる)の頭文字を取ったもの。
信州型コミュニティスクール	(1)学校運営参画(2)学校支援(3)学校評価機能を一体的・持続的に実施することにより、学校と地域との協働活動を行う学校。
信州チャレンジスポーツDAY	子どもから大人まで県民が参加・交流し、様々な形でスポーツに触れ、生涯にわたって豊かなスポーツライフの実現につながる機会となるスポーツイベント。
信州ねんりんピックススポーツ交流大会	スポーツを通じた積極的な仲間づくりや世代間交流により、ふれあいと活力ある長寿社会づくりを進めることを目的とし、県内在住の60歳以上の県民を対象に開催されているスポーツイベント。
ずくだすガイド	県民への運動習慣の定着を図ることを目的に、生活スタイルに合わせ、日常生活の中で取り組みやすい身体活動の例を示した長野県オリジナル身体活動ガイドライン。

スポーツ少年団	地域社会においてスポーツ活動を中心に組織的な活動をしている少年のスポーツ・クラブで、日本スポーツ少年団に登録し、その認定を受けている。青少年の健全育成と地域スポーツの振興を目的に、日本体育協会が協会創立50周年記念事業の一つとして1962年6月23日、オリンピックデーを期して創設した。日本体育協会の内部機構に全国を代表する日本スポーツ少年団を、また都道府県、市町村の体育協会にもそれぞれの地域を代表するスポーツ少年団を置き、育成に当たっている。
スポーツ推進委員	市町村におけるスポーツの推進のため、スポーツの推進のための事業の実施に係る連絡調整並びにスポーツの実技指導その他スポーツに関する指導及び助言をする者。社会的信望があり、スポーツに関する深い関心と理解を有し、職務を行うのに必要な熱意と能力を有する者を市町村教育委員会が委嘱している。スポーツ基本法(平成23年法律第78号)制定時に、従前の「体育指導委員」から改称された。
スポーツツーリズム	プロスポーツの観戦者やスポーツイベントの参加者と開催地周辺の観光とを融合させ、交流人口の拡大や地域経済への波及効果などを目指す取組。
スポーツによる元気な信州づくり包括連携協定	県内四つのプロスポーツチーム運営会社[株式会社長野県民球団(信濃グランセローズ)、株式会社松本山雅(松本山雅フットボールクラブ)、株式会社長野パルセイロ・アスレチッククラブ(AC長野パルセイロ)、株式会社信州スポーツスピリット(信州ブレイブウォリアーズ)]と県、(公財)長野県体育協会、(特非)長野県障がい者スポーツ協会の7者が平成24年7月5日に締結した協定。各団体がスポーツ振興、青少年の健全育成、県民の健康増進、観光振興、その他地域の活性化に関することについて連携・協力し、スポーツを通じて長野県全体に元気を創出していくことを目的としている。
SWANプロジェクト	SWANプロジェクト Superb Winter Athlete Nagano プロジェクト。国のスポーツ基本計画及び長野県スポーツ推進計画に沿った競技力向上の視点に立ち、1998年開催の長野冬季オリンピックの遺産である人的・物的・環境資源を最大限に活用しながら、子どもたちに世界で活躍する競技者となる「夢とチャンス」を与えることを目的としたプロジェクト。JOC(日本オリンピック委員会)、JISS(国立スポーツ科学センター)等と連携を図りながら、世界に挑戦する競技者育成に必要なプログラムを提供し、スキー、スケート、カーリング、ボブスレー、リュージュ、スケルトン競技において、日本を代表し、世界で活躍する冬季オリンピックメダリストを見出し、育成することを目指す。2009年より1期生の育成を始める。
総合型地域スポーツクラブ	「誰でも」「いつでも」「世代をこえて」「好きなレベルで」「いろいろなスポーツ」を楽しむことのできる地域住民が主体的に運営する総合的なスポーツクラブのこと。
タ行	
体力向上プラン	各学校が、体力テストの結果をもとに自校の児童生徒の体力の現状を分析し、より体力を高めていくために作成する学校独自の活動計画。
体力合計点	文部科学省が全国一律で行う「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」において実施する実技種目の握力、50m走、ボール投げ、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン(中学生は持久走か20mシャトルランのどちらかを選択)、立ち幅とびの8種目を点数化して合計したもの。
体力テスト	体力の実態を測定する調査。握力、50m走、ボール投げ、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン(中学生は持久走か20mシャトルランのどちらかを選択)、立ち幅とびの8種目を行い、筋力、筋パワー、柔軟性、敏捷性、全身持久力等の体力要因を測定する。
ターゲットエイジ	2027年本県開催の国体において、少年種別選手(中3～高3)の対象となる子どもたちのこと。(具体的には2021年4月2日～2024年4月1日生まれの子ども)成年種別の場合は、2021年4月1日以前に生まれた者が対象となる。

地域スポーツの新たなプラットフォーム形成支援事業	総合型地域スポーツクラブを核としたスポーツ拠点のマルチ化により、健康寿命の延伸と地域活性化に寄与することを目指し、住民がより気軽に参加できる身近なスポーツ環境の整備を行う市町村の取組に対して補助する事業。
中間支援組織	都道府県体育協会等が主体となり、都道府県のクラブ間ネットワークと連携・協働して総合型クラブの自立的な運営の促進に向けた支援を担う組織。当該組織において、総合型クラブの継続的・安定的な運営に向けて、クラブアドバイザーを配置し、総合型クラブに指導・助言するとともに、弁護士や税理士、中小企業診断士等の専門家による相談窓口を設置することなどを想定している。
頭頸部外傷事故発生時の対応フローチャート	小・中・高等学校の学校教育下の活動において、児童・生徒が頭頸部や顔面に強い衝撃を受けた時の対応をまとめた一覧表。
(タレント)トランスファー	ある運動で高めた能力をもとに、他の種目での可能性を引き出し、選手育成していくこと。
ナ行	
長野県アスリート就職支援事業	アスリートが長野県内企業へ就職し競技を継続するため、アスリートと企業をマッチングする事業。アスリートたちが安心して競技に取り組み、地域で活躍できる環境を整え、さらに引退後も引き続き指導者として地域に残り、技術や経験を地域に還元する好循環を創出していくことを目指す。
長野県広域スポーツセンター	県体育センターに併設。総合型地域スポーツクラブの創設や運営、活動への支援のほか、スポーツ活動全般について、効率的な支援を行う役割を担う。県体育センターの既存の機能に加え、次のような機能を付加することにより、広域スポーツセンターとして位置付けている。 <ul style="list-style-type: none"> ○総合型地域スポーツクラブの創設、育成に関する支援 ○総合型地域スポーツクラブのクラブマネジャー・指導者の育成に関する支援 ○スポーツ情報の整備・提供 ○スポーツ交流大会の開催 ○トップレベルの競技者育成に関する支援 ○地域のスポーツ活動に対するスポーツ医科学研究に対する支援
長野県高校生冬の冬山・春山における安全確保指針	高校生以下の生徒は、原則として、冬から春にかけて主に雪上で実施する登山活動は行わないこととするが、長野県高等学校体育連盟登山専門部および高体連登山専門部に加盟する高等学校山岳部や山岳同好会等が活動を行う場合に、安全を確保するために遵守事項をまとめたもの。
長野県スポーツコミッション	スポーツを「する」、「みる」、「ささえる」人々を県内に呼び込み、官民が一体となり機動的にスポーツ大会、スポーツ合宿の誘致を推進することにより、地域地域経済の活性化を図ることを目的に平成28年に設立された団体。
長野県総合型地域スポーツクラブ普及・育成・支援事業の連携・推進に関する連携協定	県総合型クラブ連絡協議会、松本大学及び県体育センターが、総合型地域スポーツクラブの振興・発展に資する活動を通して、地域の活性化に貢献するとともに、それを担う人材育成のための取組みに関して、関連する諸事業を連携・協力して推進することを目的として締結した協定。
長野県中学生期のスポーツ活動指針	心身の成長過程にある中学生期にとってのスポーツ活動が、「スチューデント・ファースト」(学習者本位)の精神に基づく、適切で効果的な活動となることを目指して、平成26年2月に策定された長野県独自の指針。
長野県登山安全条例	登山を安全に楽しむための環境を整備することを目指し制定された条例。指定登山道を通行しようとする場合の登山計画書の届け出を義務付けた。平成27年12月17日公布。
長野県版運動プログラム	子どもの運動習慣づくりを通して、体力・運動能力の向上を計るとともに、コミュニケーション能力等社会性の発達を促し、生涯にわたって心身ともに健康な生活を送る基盤を培うことを目的に作成された幼児期から中学生期までの成長段階に応じた長野県オリジナルの運動プログラム。

ながのスポーツスタジアム	集団縄跳びやボールパスなどの6種目に、小・中学生がクラス単位で取り組む。結果を県教育委員会が集約し、ホームページ上で記録を競い合う。
ナショナルトレーニングセンター	日本のトップレベル競技者用トレーニング施設。中核拠点と国内各地に競技別強化拠点があり、長野県内では、白馬ジャンプ競技場・白馬クロスカントリー競技場(白馬村)などが競技別強化拠点施設に指定されている。(平成29年現在)
ニュースポーツ	年齢や性別、技術、体力、ハンディキャップの有無にかかわらず、誰もが手軽に楽しむことができる比較的新しいスポーツで、新しく我が国で考案されたり、諸外国から導入されたりしているスポーツの総称。マレットゴルフ、ゲートボール、ペタンク、インディアカ、カローリング、フロアホッケーなどがある。
ハ行	
部活動指導員	教員の働き方改革と部活動の質的な向上を図ることを目的に、学校教育法施行規則の一部改正(第78条の2 H29.4.1施行)により、中学校、高等学校において、部活動の指導、大会等への引率を行うことを職務とする部活動指導員について制度化された。
ホストタウン	2020年東京オリンピック・パラリンピック大会開催に向け、スポーツ立国、グローバル化の推進、地域の活性化、観光振興等に資する観点から、参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図る地方公共団体。平成28年12月9日にホストタウン長野県実行委員会の中国を相手国とするホストタウン交流計画が国の登録を受けた。
ヤ行	
ゆる部活	これまでの競技志向の運動部活動ではなく、誰もが気軽に楽しめる活動を位置付けることにより、特に部活動に所属していない生徒や文化部に所属する生徒の運動機会を確保することをねらいとしている。

第2次長野県スポーツ推進計画策定までの経過

年度・年月		経 過	
H28	H29.2.6	長野県スポーツ推進審議会①	「10年後の目指す姿」の検討
H29	H29.5.23	長野県スポーツ推進審議会②	「基本目標」と「施策の方向性」の検討
	H29.8.24	長野県スポーツ推進審議会③	「施策の展開」の検討
	H30.1.12	長野県スポーツ推進審議会④	計画原案の検討
	H30.1.26 ～2.26	県民意見公募 (パブリックコメント)	計画原案について県民意見を公募
	H30.3.13	県教育委員会定例会	計画案の決定
	H30.3.23	県部局長会議	計画の決定

長野県スポーツ推進審議会委員名簿

(会長及び会長職務代理者を除き五十音順、敬称略)

職 名	氏 名	現 職 等
会 長	古澤 栄一	信州大学学術研究院教授
会長職務代理者	白井 久仁子	長野県スポーツ推進委員協議会副会長
委 員	奥原 明男	長野車椅子バスケットボール協会会長 元パラリンピック日本代表
〃	加藤 久雄	長野市長
〃	小林 京子	一般社団法人千曲アプリコットスポーツクラブ会長
〃	城下 敦子	長野県市町村教育委員会連絡協議会代議員 (上田市教育長職務代理者)
〃	橋本 小百合	元日本電産サンキョースケート部 バンクーバー五輪日本代表
〃	広瀬 智意子	一般公募委員
〃	宮本 恵美	一般公募委員
〃	矢島 富士雄	長野県高等学校体育連盟会長 (上田東高等学校長)

(任期：平成28年9月13日～平成30年9月12日)